資料4

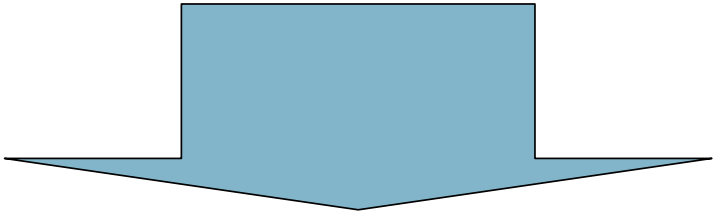
今後の空港整備等のあり方について

全国空港建設整備促進協議会会長
静岡県知事　石川嘉延

1　空港の地域における役割

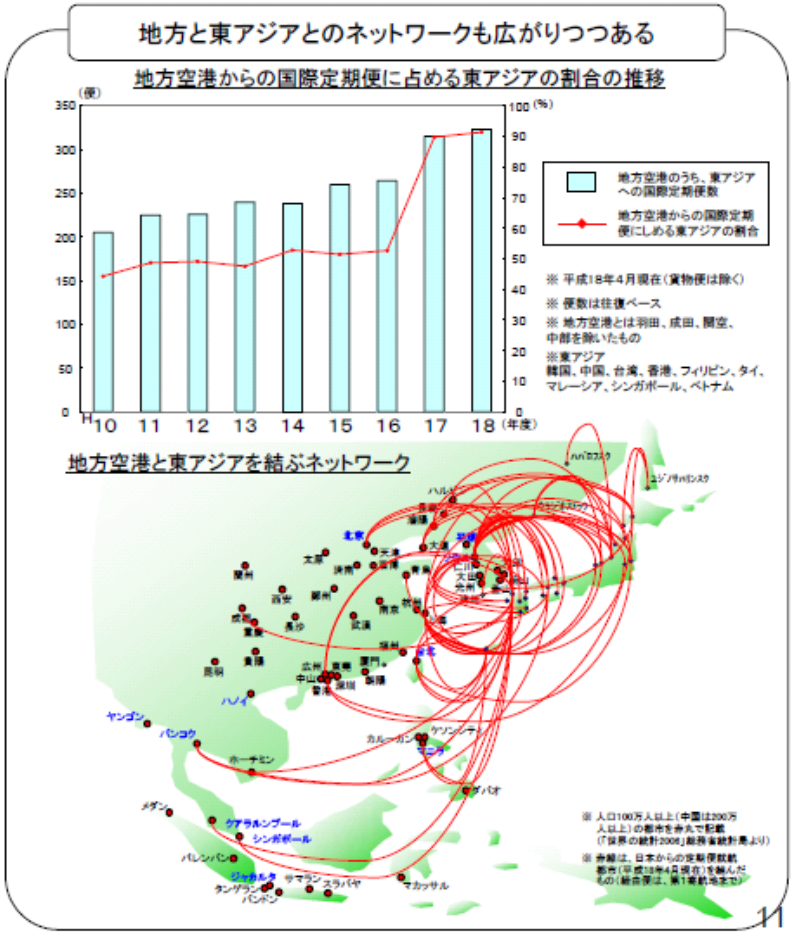
- 航空輸送の特徴
  - 地理的障壁に左右されない
    - ⇨ 国内の海越え山越え・中長距離輸送、国際旅客輸送
  - 短時間で遠距離を結ぶ
    - ⇨ 時間価値に対応

- 山間地の多い島嶼国である日本
  - 航空輸送が高速交通体系の整備に重要な役割
  - 時間価値の高まり、産業・産業の振興による地域の再活性化の必要、地域間交流・国際交流の増大



空港の役割は大きい

- 一般空港の整備
  - 時代の流れとともに変化
    - 機材大型化への対応
    - 国内航空ネットワークの全国展開
    - 国内ネットワークの効果発現
    - 東アジアとの直接交流
- 三大都市圏の空港の整備状況
  - 容量制約を解消するための重点的整備
  - 羽田空港再拡張、成田空港平行滑走路の早期実現



（図・グラフ出典）

第1回分科会における国土交通省資料（資料4）の一部を再掲

２　空港の利用及び活用の促進に向けた取り組み

① 北九州空港
- 地域航空会社による早朝深夜便

② 佐賀空港
- 深夜貨物定期便による国際航空貨物輸送

③ 仙台空港
- 空港アクセス鉄道の整備

３　航空及び空港に関係する要望

①　羽田空港再拡張事業

- 早期完成による発着容量不足の解消
- 離島・過疎地域をはじめとした地方路線の増便確保

②　空港及び航空保安施設の老朽化への対応

- 多くの空港の基本施設が建設後20～30年前後経過
- 更新の増加に対応するための財源確保

③　安全・安心の確保

- 耐震対策実施、航空保安対策強化、航空管制システム改善

④ 空港機能の高度化

- 就航率向上、空港アクセスの改善、ユニバーサルデザインの推進、観光振興、物流機能の充実
- 除雪費用に対する支援

⑤ 一般空港の国際化への対応

- 国際便の増加に対応したCIQ体制の充実

⑥ 地域航空会社の支援

- 早朝夜間便など地域の事情に合わせた運用が期待